



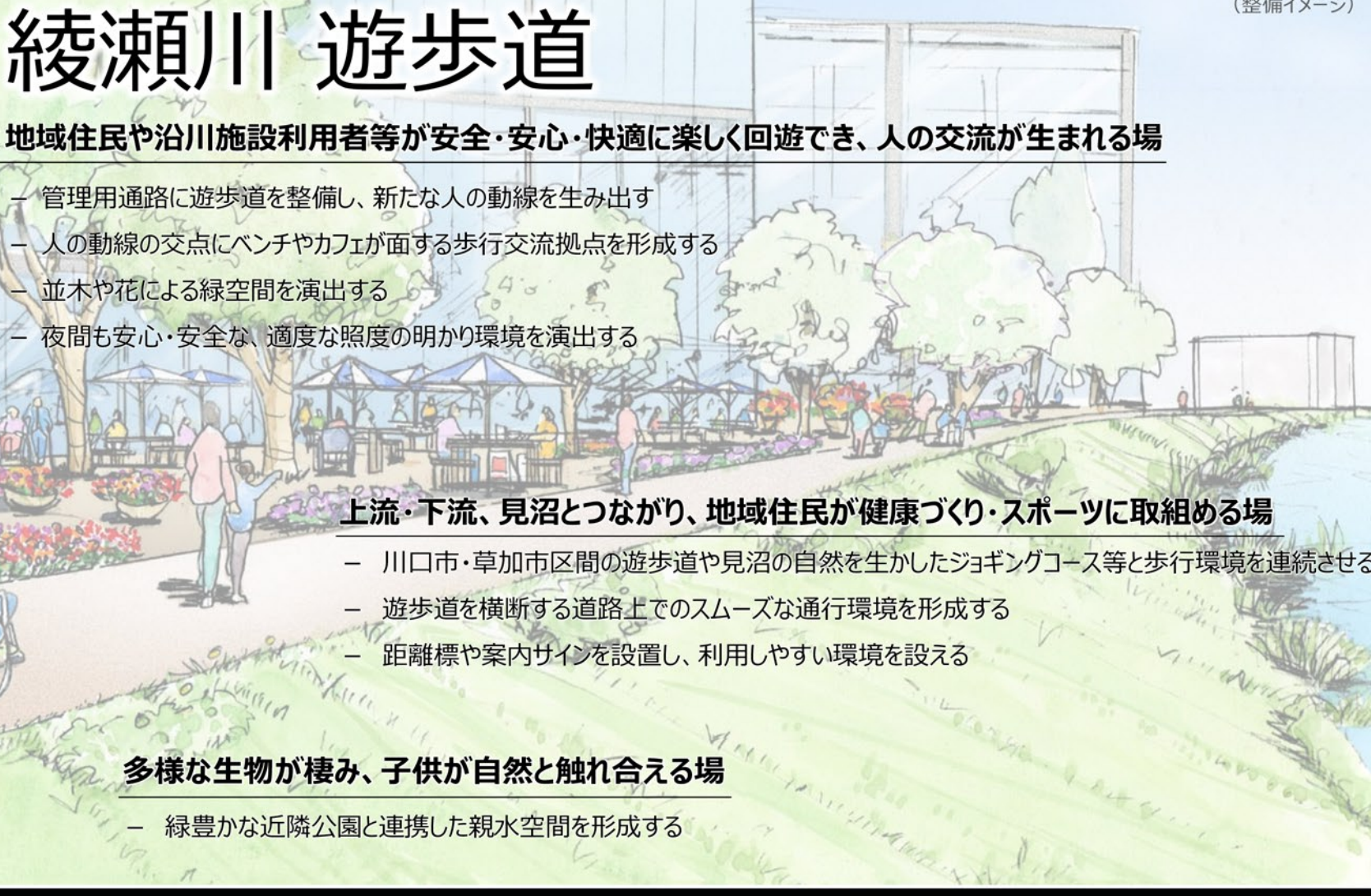


(整備イメージ)

# 綾瀬川 遊歩道

## 地域住民や沿川施設利用者等が安全・安心・快適に楽しく回遊でき、人の交流が生まれる場

- 管理用通路に遊歩道を整備し、新たな人の動線を生み出す
- 人の動線の交点にベンチやカフェが面する歩行交流拠点を形成する
- 並木や花による緑空間を演出する
- 夜間も安心・安全な、適度な照度の明かり環境を演出する

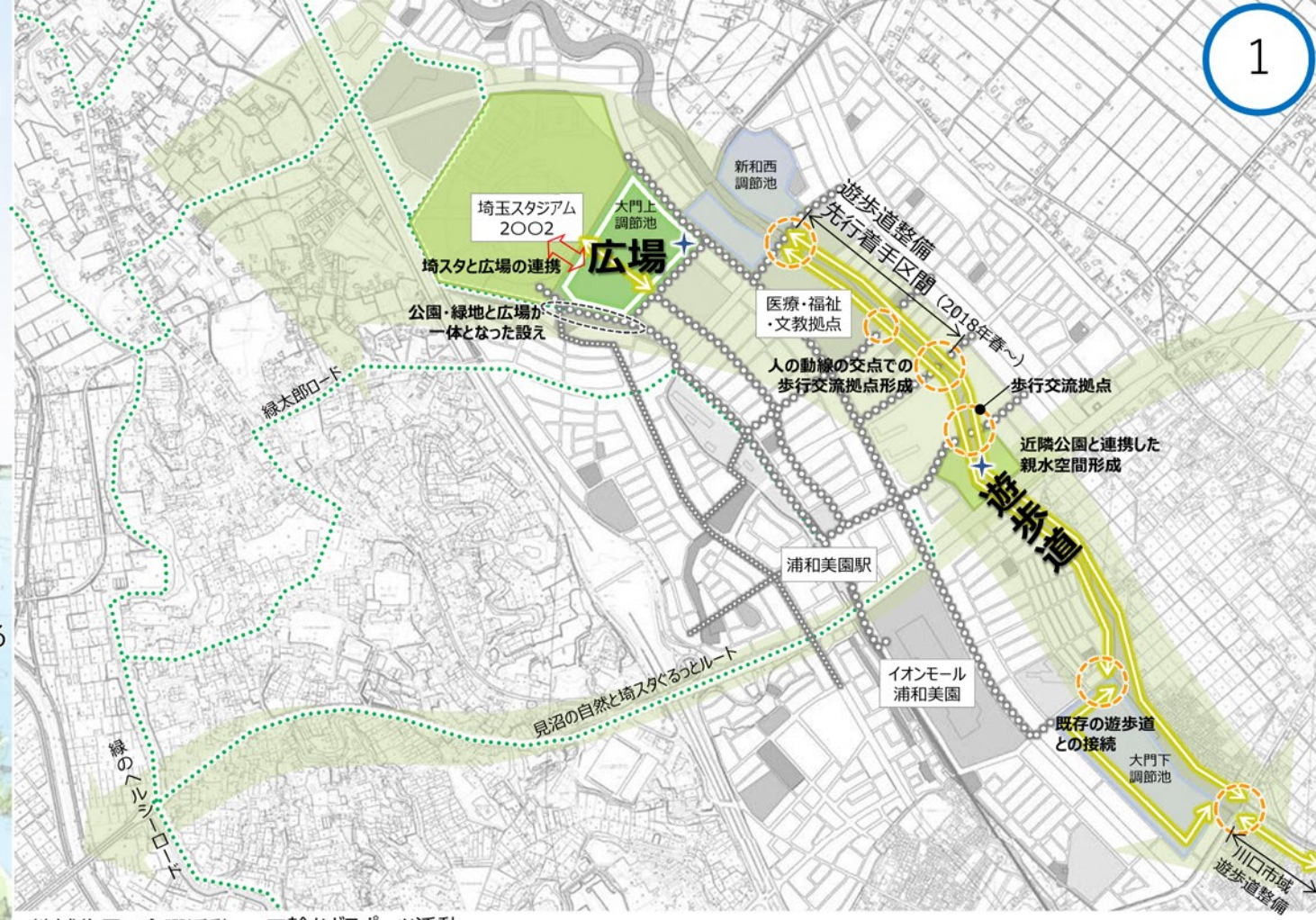


## 上流・下流、見沼とつながり、地域住民が健康づくり・スポーツに取り組める場

- 川口市・草加市区間の遊歩道や見沼の自然を生かしたジョギングコース等と歩行環境を連続させる
- 遊歩道を横断する道路上でのスムーズな通行環境を形成する
- 距離標や案内サインを設置し、利用しやすい環境を設える

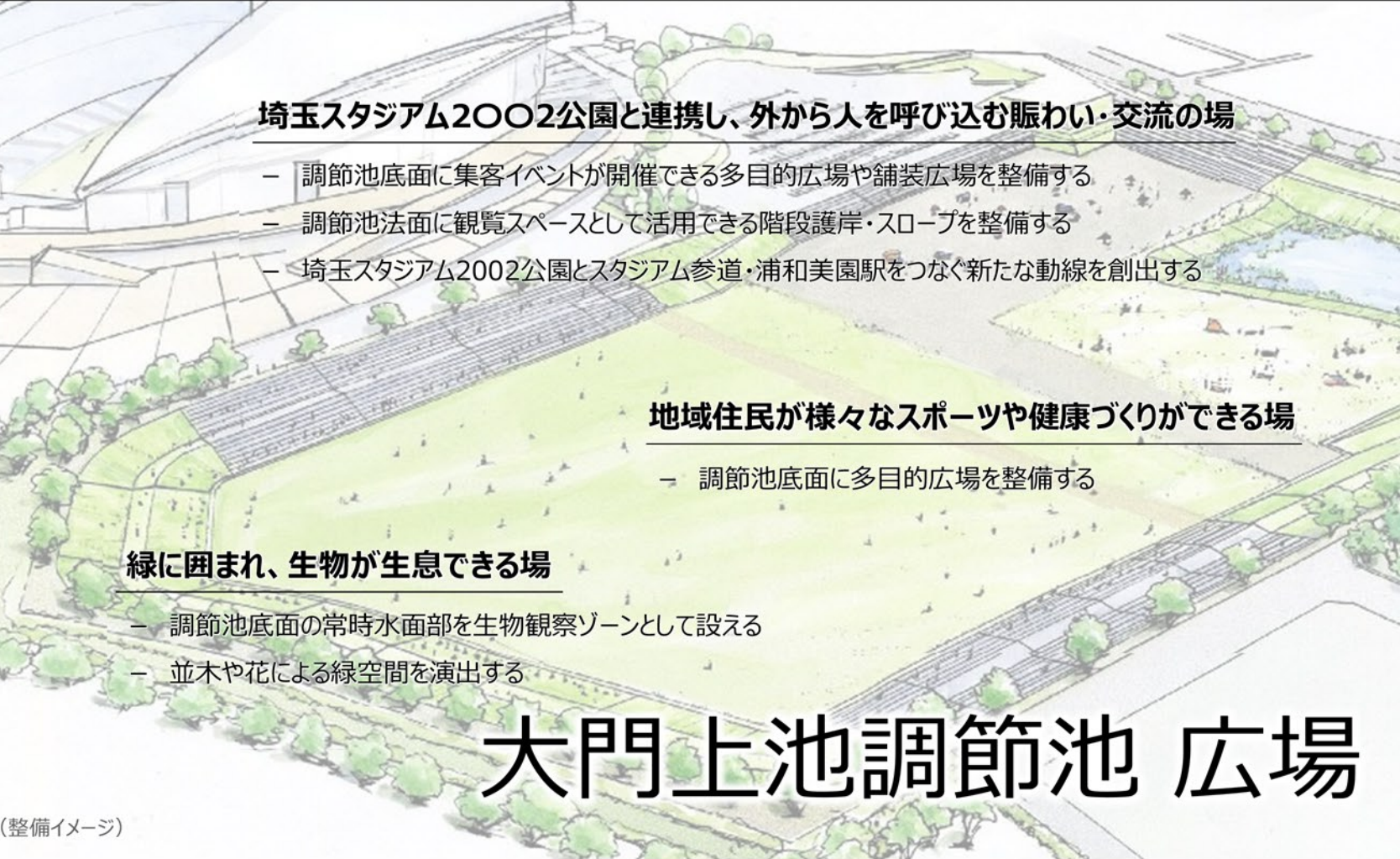
## 多様な生物が棲み、子供が自然と触れ合える場

- 緑豊かな近隣公園と連携した親水空間を形成する



- ・地域住民の余暇活動
- ・サッカーなどスポーツ活動
- ・集客イベント開催
- ・二輪などスポーツ活動
- ・集客イベント開催
- ・駐車場
- ・生物・自然観察
- ・ウォーキング・ジョギング
- ・水遊び
- ・通行・休憩・交流

# 川の国埼玉はつらつプロジェクト さいたま市・綾瀬川 美園スタジアムタウン 河川空間活用計画



## 埼玉スタジアム2002公園と連携し、外から人を呼び込む賑わい・交流の場

- 調節池底面に集客イベントが開催できる多目的広場や舗装広場を整備する
- 調節池法面に観覧スペースとして活用できる階段護岸・スロープを整備する
- 埼玉スタジアム2002公園とスタジアム参道・浦和美園駅をつなぐ新たな動線を創出する

## 地域住民が様々なスポーツや健康づくりができる場

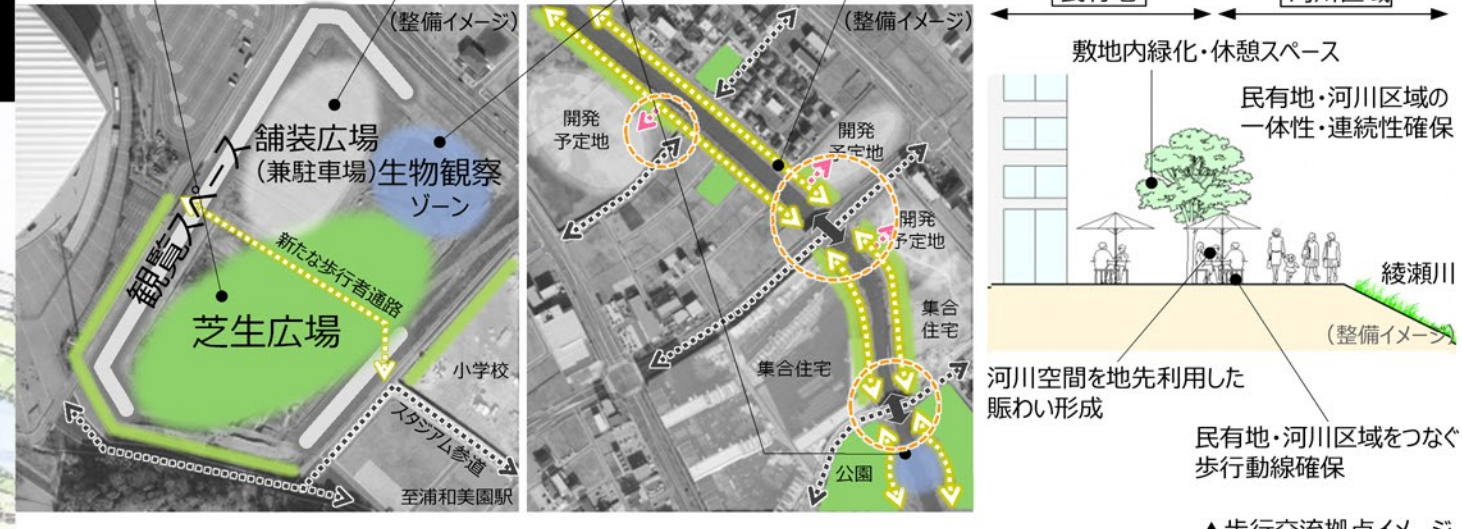
- 調節池底面に多目的広場を整備する

## 緑に囲まれ、生物が生息できる場

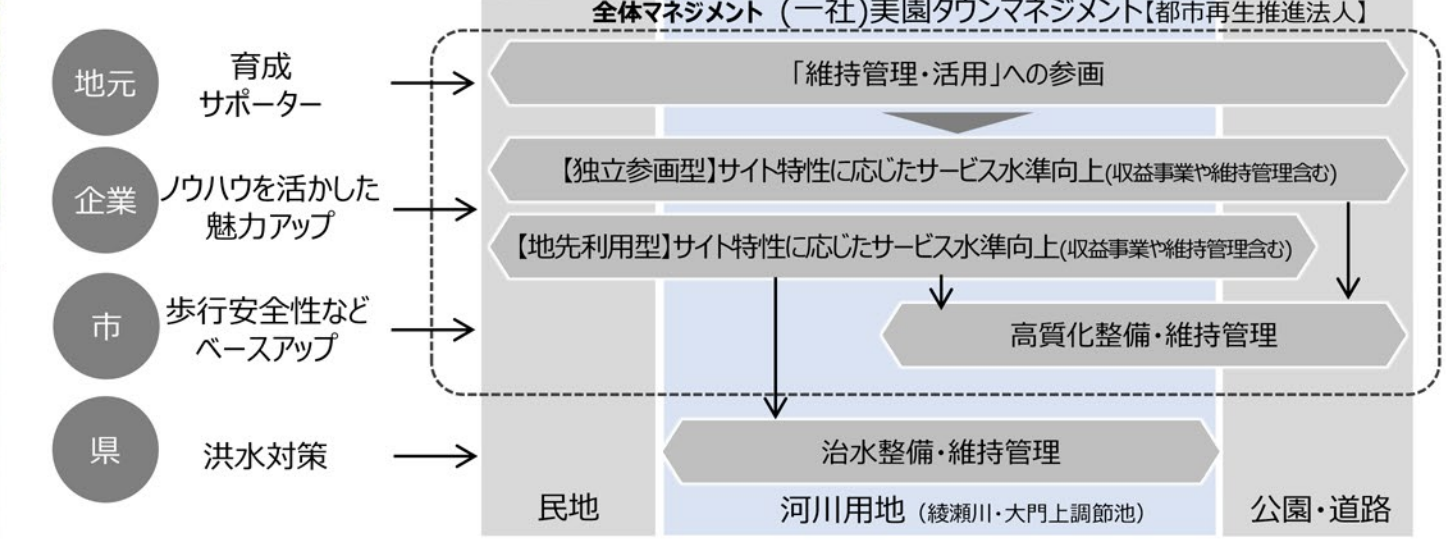
- 調節池底面の常時水面部を生物観察ゾーンとして設える
- 並木や花による緑空間を演出する

# 大門上池調節池 広場

(整備イメージ)



## 地域協働による利活用・維持管理





● 遊歩道の整備状況



● 遊歩道の維持管理

■ 役割分担 (案)

埼玉県 (河川管理者)	さいたま市 (河川占有者)	地域
治水機能維持に必要な維持管理	日常的な維持管理 (簡易な修繕等)	日常的な維持管理 (清掃・草刈り等)

貴重な地域の水辺空間を地域で守り育てていくため、沿川の方々など地域住民や企業で「綾瀬川サポーター」を組織

水辺を身近に感じるための機運醸成として、「水辺で乾杯」を2018年7月7日に実施！(来年以降も‘七夕’に実施予定)



● 意見交換

地域の憩いの場である綾瀬川沿いを活性化し、地域の誇りとして育てていくために、地域で取り組みたいこと、できることは？



# 大門上池調節池

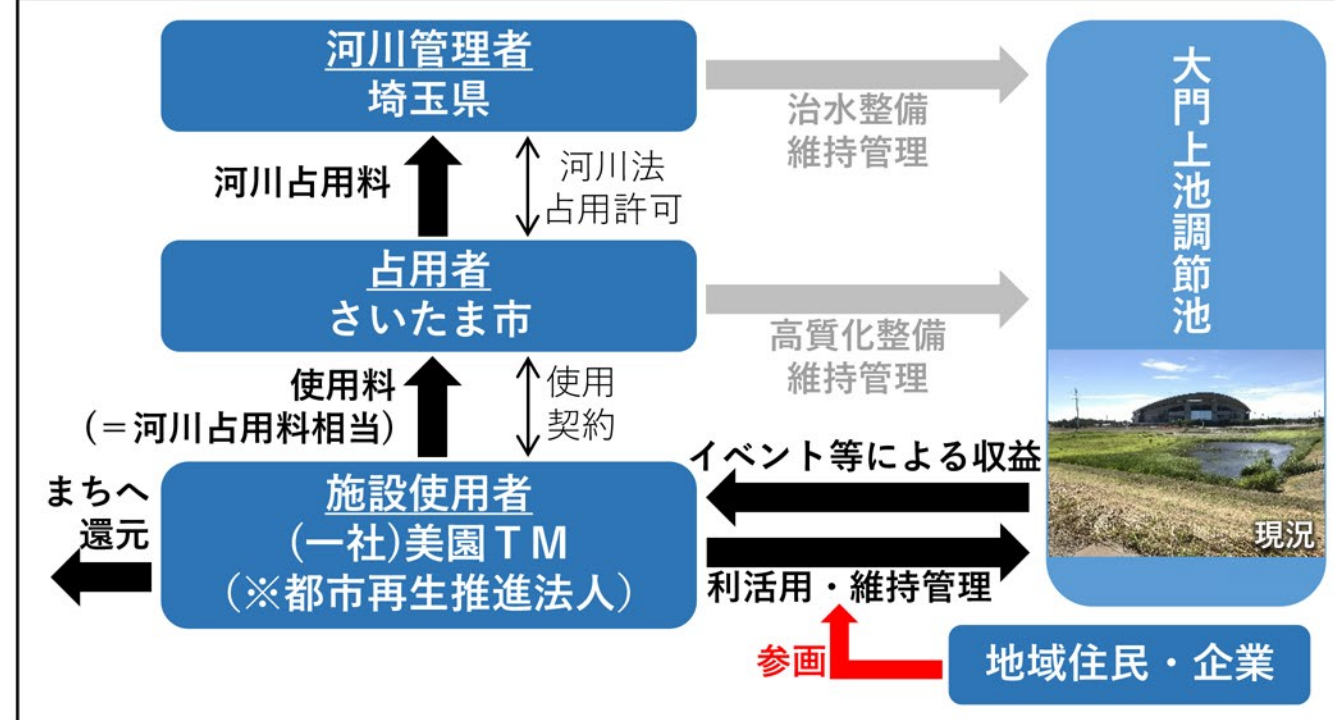
## ●高質化整備・利活用に向けた検討状況

- ▶2018年3月策定の基本計画『河川空間活用計画』をベースに、具体的な利活用方法や整備後の維持管理体制を踏まえ、高質化整備の詳細内容を検討中。
- ▶隣接する埼玉スタジアム2002は2020年東京オリンピックのサッカー競技会場の1つ。多くの来街が想定されるオリンピック時の活用を見据えた底面整備を目指す。

東京オリンピック

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度～
高質化整備 (県・市)	今ココ ・詳細整備内容検討	・実施設計 ・底面第1期工事 ・法面護岸工事	・法面護岸工事	(利活用状況等踏まえ必要に応じて底面第2期工事)
利活用 ・維持管理 (県・市・地域)	・管理運営スキーム検討	・管理運営スキーム構築	地域協働による利活用・維持管理	

■大門上池調節池スケジュール (案)



■管理運営スキーム (案)



■想定される利活用方法



## ●意見交換

地域の貴重な財産である広大なオープンスペースを、賑わいや交流の新たな拠点として、また、スポーツや健康づくりの場として、地域でどのように使い倒すか？

どんな‘仕掛け’が必要か？